

事務事業名	水質調査事業		所属部局	市民部	単位番号	4094				
			所属課室	環境課	課長名	小笠原良仁				
			所属担当	環境保全・自然エネルギー担当	担当者名	河野慎介				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		20 快適生活環境の整備		01	一般	04	01	06	020	02
施策		33 生活環境の保全	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	環境基本法、環境基本条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	河川(25箇所)年2回調査、地下水(6箇所)年1回調査、事業所排水(5事業所)年1回調査の4事業所と年2回調査の1工業団地、地下水モニタリング調査(県調査汚染井戸2箇所)年2回調査(土壌汚染関係2箇所)年1回の水質調査を行う。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				調査研究委託料	4,631					
						計	4,631			

1 現状把握(DO)

1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容	市内公共用水域、地下水(井戸)、事業所排水等の水質調査を行い、環境保全のための基礎データの収集及び監視を行う。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	市内公共用水域、地下水(井戸)、事業所排水等の水質調査を行い、環境保全のための基礎データの収集及び監視を行う。			ア:河川水質サンプル数	検体
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	河川・地下水・事業所排水		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:河川調査箇所数	箇所
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	河川・地下水・事業所排水の水質調査と監視業務		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:河川基準適合件数	件
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	河川、地下水、事業所排水の水質向上による生活環境の保全		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:環境基準適合数	件

24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		最終年度		
(決算・実績)		(決算・実績)		(決算見込・実績)		(予算・目標)		(計画・目標)		(計画・目標)		(トータルコスト・目標)		
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位											
		国庫支出金	千円											
		県支出金	千円											
		地方債	千円											
		その他一般財源	千円	4,155	3,922	4,631	5,136	5,136	5,136					
	事業費計(A)	千円	4,155	3,922	4,631	5,136	5,136	5,136	5,136			0		
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2					
	延べ業務時間	時間												
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0			0		
	(A)+(B)	千円	4,155	3,922	4,631	5,136	5,136	5,136	5,136			0		
活動指標	ア	検体	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0				
	イ	検体	12.0	6.0	12.0	17.0	17.0	17.0	17.0					
	ウ	検体	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0					
対象指標	ア	箇所	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0					
	イ	箇所	12.0	6.0	12.0	17.0	17.0	17.0	17.0					
	ウ	箇所	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0					
成果指標	ア	件	427.0	415.0	446.0	500.0	500.0	500.0						
	イ	件	174.0	54.0	108.0	163.0	163.0	163.0						
	ウ	件	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0						
上位成果指標	ア	件	675.0	543.0	682.0	737.0	737.0	737.0						

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前の旧町村の時代から、生活環境を保全する目的で実施されてきた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	環境の保全に対する関心が5年前より高くなっているよう思える。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4)改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	水質管理のため調査項目はクリアしているため。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	水質調査事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 生活環境を保全するうえで施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 環境の保全を維持するためには、税金を投入しても妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市内の水質を調査し、把握することで環境の保全を保つ。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 中央リニア新幹線の操業が見込まれており、今後は沿線での調査の必要性を感じる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 水質の監視ができないため、他の施策に影響が出る。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 法などにより生活排水の対策を市で行わなければならないことになっており、その指標となるため廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 入札により予定価格よりも下がる可能性はあるが、大幅な削減は見込めない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 専門業者へ委託しているが事務処理等については最低限の状況であるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全域の生活環境の保全を維持していくので、公平公正と思われる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	中央リニア新幹線の運営が見込まれており影響調査を実施する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 中央リニア新幹線の運営が見込まれており影響調査を実施する必要がある。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 平成27年度当初予算要求を行なう。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					